

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第3時(9時間取り扱い)

高さが外にある平行四辺形・求積方法が理解できる

本時の授業の概要

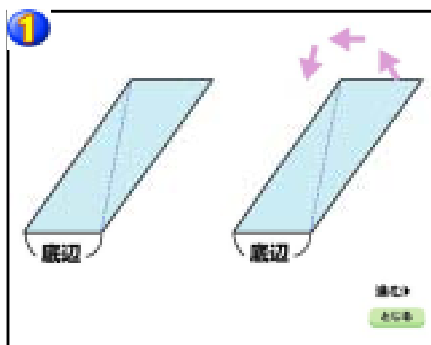
前時において学習した平行四辺形の面積の求め方をもとに、高さが平行四辺形のの外側にくる場合にも、公式が適用できることを理解することをめざす。高さが平行四辺形の外側にくる場合の底辺と高さの関係を把握することは難しいため、ていねいに取り扱い、底辺と高さの関係の理解をより深める。

本時の目標

高さが平行四辺形の外側にくる場合にも、平行四辺形の面積を求める公式が適用できることを理解する。

活用場面

課題発見 見通し 一般化 **まとめ** 習熟

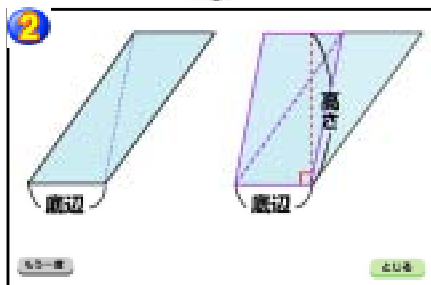


高さが外側にある場合でも、平行四辺形の面積を公式を使って求められることを確認する。

①② T : (図をさしながら) こんな高さが外にある平行四辺形も、公式を使って求めることができることを説明しましょう。

C : 高さが外にある平行四辺形も、対角線で切り移動すると高さが内側になる平行四辺形に変形することができます。

C : どんな平行四辺形も「底辺×高さ÷2」の公式を使って面積を求めることができます。

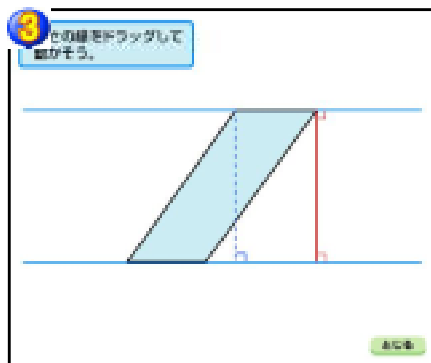


高さが外側になる平行四辺形の高さのを見つけ方を確認する。

③ T : (図を指しながら) こんな平行四辺形の高さはどのようにして見つけることができますか。

C : 底辺を伸ばして、向かい合う辺から垂直に引いた線の長さが高さとなります。

T : 高さがどこになるのか、とても間違いやすいです。底辺と高さの位置関係に注意して、平行四辺形の面積を求めてください。



【ワンポイントアドバイス】

底辺と高さの関係を捉えきれない児童がいる。公式とともに、底辺と高さの関係の理解も十分図りたい。

【サイト情報】

http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14contents/vol1/p91_02.html

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)